

石川労働局発表
平成 26 年 5 月 2 日

石川労働局労働基準部
担当 健康安全課長 山森 修
産業安全専門官 河野 英俊
連絡先 076-265-4424

平成 25 年の労働災害発生状況について

～休業 4 日以上の死傷者数は 1,053 人で、前年より 3.5%減少～

石川労働局（局長 高淵憲一）では、平成 25 年の労働災害の発生状況を取りまとめました。

<平成 25 年の労働災害発生状況>（労働者死傷病報告（*）による。）

1 死亡災害の状況

死亡者数は 8 人(前年より 3 人減少)となり、業種別では、運輸交通業 2 人、製造業 1 人、建設業 1 人等となっている。

2 休業 4 日以上の死傷災害の状況

休業 4 日以上の死傷者数は、1,053 人(前年比 38 人(3.5%)減少)となった。平成 22 年、平成 23 年と 2 年連続増加した後、平成 24 年、平成 25 年と 2 年連続減少した。

詳細は以下のとおり。

1 死亡災害の状況【労働災害の現況 P1】

死亡者数は 8 人で、平成に入ってから最少である平成 18 年と同数となった。

- (1) 業種別では、製造業 1 人、建設業 1 人、運輸交通業 2 人、教育研究業 1 人、接客娯楽業 1 人、その他の事業 2 人(運転代行業など)となっている。
- (2) 事故の型別では、「交通事故(道路)」が 3 人、次いで「墜落・転落」が 2 人、「転倒」が 1 人、「その他」が 2 人となっている。

2 休業 4 日以上の死傷災害の状況

平成 24 年に比べ 38 人(3.5%)減少し、1,053 人となった。

(1) 主要な業種別の増減の状況【労働災害の現況 P1】

業種	平成 24 年からの増減	増減の詳細
製造業	10 人(3.4%)の減少	・死亡災害は 1 人 ・食料品製造業は 11 人(16.7%)減少 ・金属製品製造業は 24 人(64.9%)増加

		・一般機械器具製造業は 4 人(8.3%)減少 ・輸送用機械等製造業は 5 人(25.0%)減少
建設業	8 人(5.8%)の減少	・土木工事 7 人(20.6%)減少
運輸業	12 人(10.4%)の増加	死亡災害は平成 24 年の 0 人から 2 人に
第三次産業	35 人(7.2%)の減少	・小売業は 11 人(9.7%)減少 ・社会福祉施設は 2 人(3.0%)増加 ・接客娯楽業は 14 人(16.1%)減少

(2) 事故の型別発生状況【労働災害の現況 P3】

(ア)「転倒」によるものが 265 人(25.2%)と最も多く、次いで「墜落・転落」が 193 人(18.3%)、機械等への「はさまれ・巻き込まれ」が 127 人(12.1%)となっている。「転倒」と「墜落・転落」で全体の 43.5%となっている。

(イ)「転倒」による災害の過去 5 年間の平均は 276.4 人で、平成 23 年は冬季の雪や凍結等環境に起因する転倒災害が大幅増加したが、平成 24 年以降は前年より減少している。

(3) 監督署別発生状況【労働災害の現況 P7】

次表のとおり

表 署別発生状況

年	金沢署		小松署		七尾署		穴水署		合計	
	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷
平成25年	5	600	1	235	0	125	2	93	8	1,053
平成24年	9	637	0	237	0	138	2	79	11	1,091
増減 (%)	-4	-37	1	-2	0	-13	0	14	-3	-38
	-44.4%	-5.8%	-	-0.8%	-	-9.4%	0.0%	17.7%	-27.3%	-3.5%

2 平成 26 年の速報値【労働災害の現況 P9、10】

(1) 死亡災害の状況(平成 26 年 4 月 22 日現在)

新聞販売業及び運転代行業における「交通事故」各 1 人、産業廃棄物処理業における「はさまれ・巻き込まれ」1 人、林業における「はさまれ・巻き込まれ」1 人の合計 4 人となっている。

9P「平成 26 年署別・業種別死傷者数(3 月末速報値)」では、3 月末までに提出された労働者死傷病報告に基づくため 2 人となっている。

(2) 休業 4 日以上之死傷災害の状況(3 月末)

前年同月より 10 人(5.6%)増加し、190 人となっている。

* 参考

労働者死傷病報告

労働安全衛生法第 100 条第 1 項(労働安全衛生規則第 97 条第 1 項)により、事業者は、労働者が労働災害その他就業中又は事業場内等における負傷等により死亡し、又は 4 日以上休業したとき、遅滞なく、所轄労働基準監督署長に提出することとされている報告書。

労働災害の現況

平成25年の概況

目次

1 労働災害の推移1
2 月別の発生状況2
3 業種別発生状況の推移2
4 事故の型別発生状況の推移3
5 起因物別発生状況の推移3
6 年齢別発生状況4
7 主要業種別の災害の型別発生状況5

石川労働局

1 労働災害の推移

平成25年 休業4日以上之死傷者数は前年に比し3.5%減少

(1)死傷者数

平成24年の石川県内における労働災害による休業4日以上之死傷者数は、1,053人（死亡者8人、休業4日以上之負傷者1,045人）となった。（「労働者死傷病報告」による。以下同じ。）

発生状況の推移は、図・1のとおり、長期的には減少傾向にあるが、平成22年から2年連続増加した後、平成24年は減少し、平成25年も前年に比し38人、3.5%減少した。

表・1 前年との対比

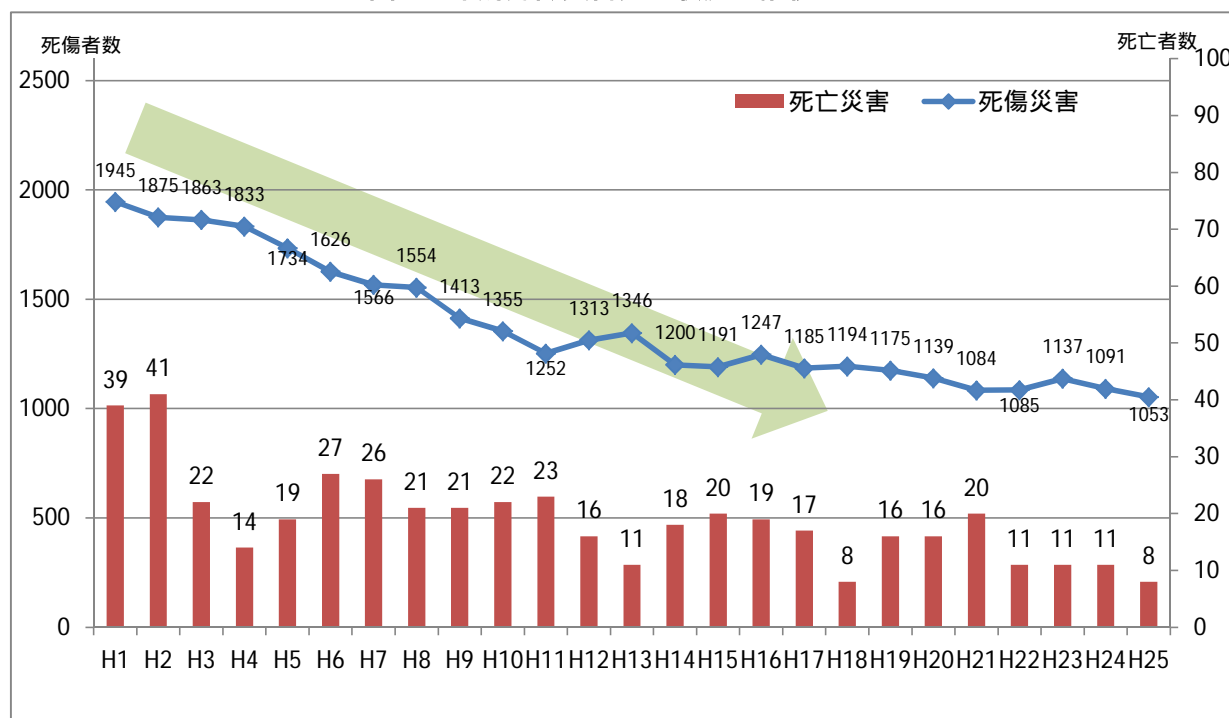
対象年	死傷者数 (休業4日以上)	前年との対比	
		増減	増減率(%)
平成21年	1,084	-55	-4.8
平成22年	1,085	1	0.1
平成23年	1,137	52	4.8
平成24年	1,091	-46	-4.0
平成25年	1,053	-38	-3.5

(2)死亡者数

平成25年に労働災害により死亡された労働者は、前年より3人減少の8人であり、業種別では、製造業1人（その他）、建設業1人（墜落・転落）、運輸交通業2人（交通事故1人、転倒1人）、教育研究業1人（墜落・転落）、接客娯楽業1人（その他）、その他の事業2人（運送代行業などにおける交通事故2人）となっている。

平成25年は、平成に入ってから最少である平成18年の8人と同数となった。

図・1 年別労働災害発生状況の推移

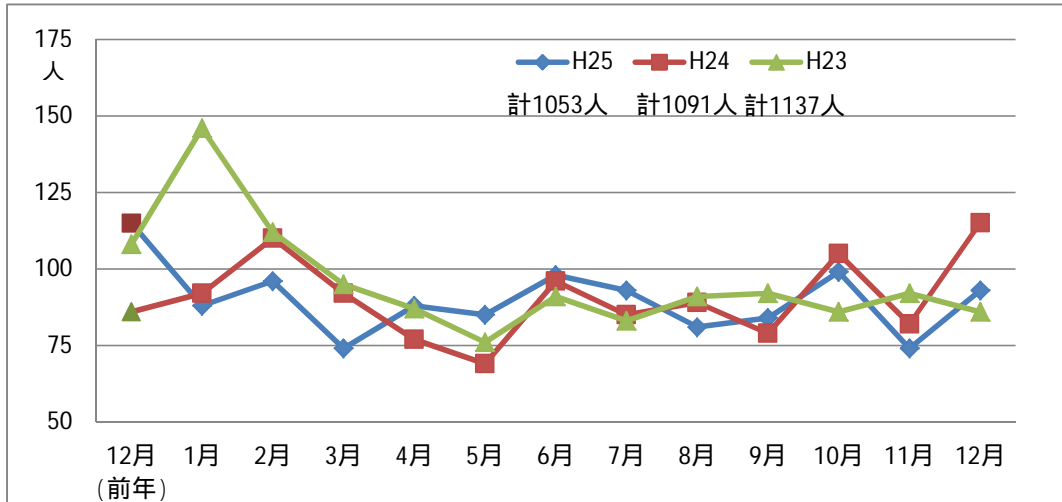


2 月別の発生状況

平成24年、25年は冬期間の転倒災害が減少

平成24年、25年は、平成23年に比して1月及び2月に雪や凍結に起因する転倒災害が減少した。

図・2 月別の発生状況の推移



3 業種別発生状況の推移

第三次産業の占める比率が増大

(1) 製造業

長期的には減少していたが、平成22年、平成23年と2年連続で増加した後、平成24年、平成25年（10人、3.4%減少）と2年連続減少した。（全業種に占める比率は27.0%）

主な業種としては、食料品製造業と金属製品製造業、一般機械器具製造業、輸送用機械等製造業といった鉄工関連業となっている。

(2) 建設業

129人（全体に占める比率は12.3%）と長期的には減少している。土木工事については7人減少したが、建築工事で6人増加し、死亡災害も1人発生した。

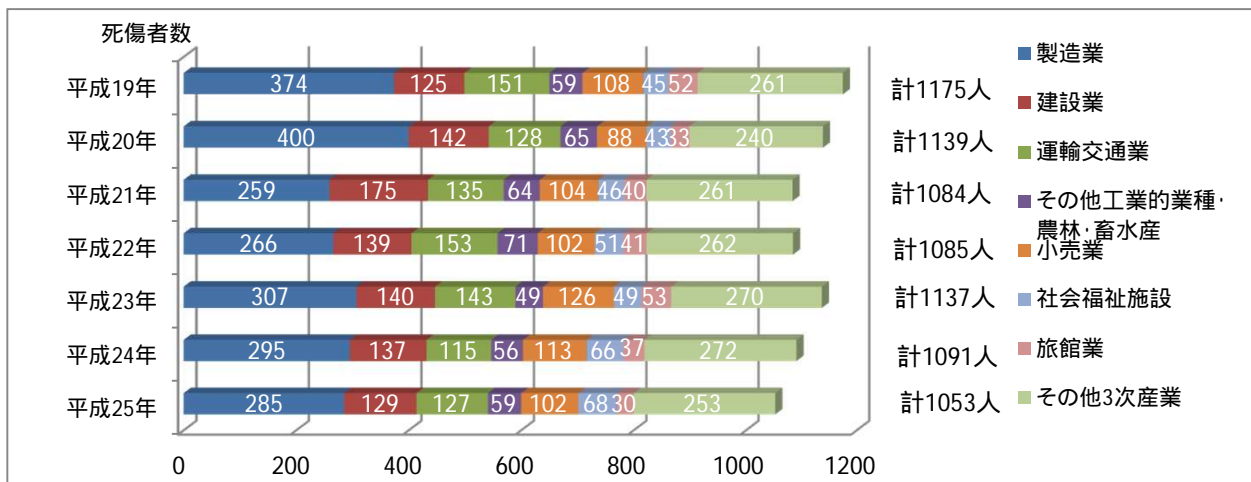
(3) 運輸交通業

127人（全体に占める比率は12.1%）となり、前年（115人）より12人、10.4%増加し、死亡災害は2人（前年0件）となった。

(4) 第三次産業

453人（全体に占める比率は43.0%、前年比1.7ポイント減少）と、大きな割合を占め、長期的に横ばい傾向にある。第三次産業の中で災害件数が多い業種は小売業（102人）、社会福祉施設（68人）となっている。

図・3 業種別の発生状況の推移



4 事故の型別発生状況の推移

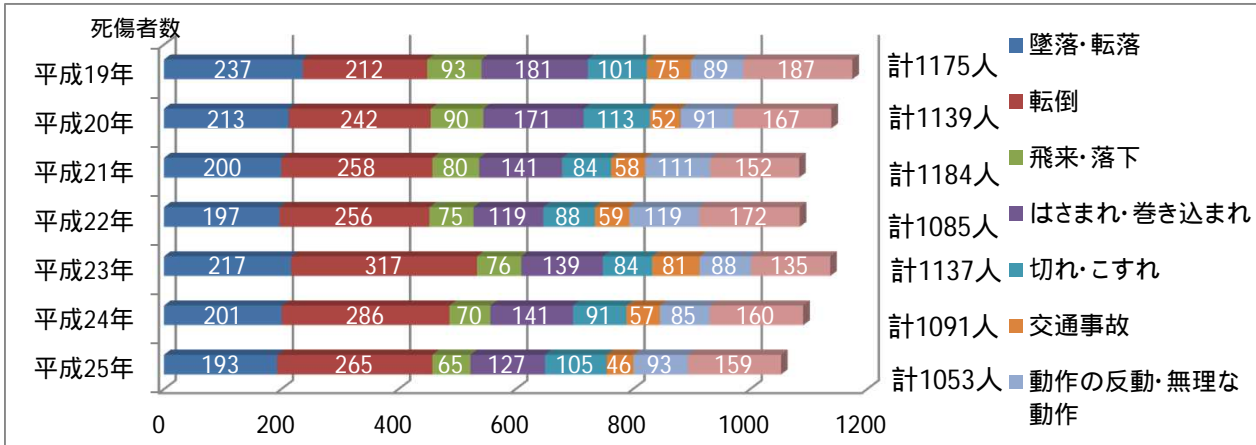
転倒と高所等からの墜落・転落で全体の約45%を占める。

「転倒」によるものが265人(25.2%)と最も多く、次いで高所等からの「墜落・転落」が193人(18.3%)、機械等での「はさまれ・巻き込まれ」が127人(12.1%)となっている。

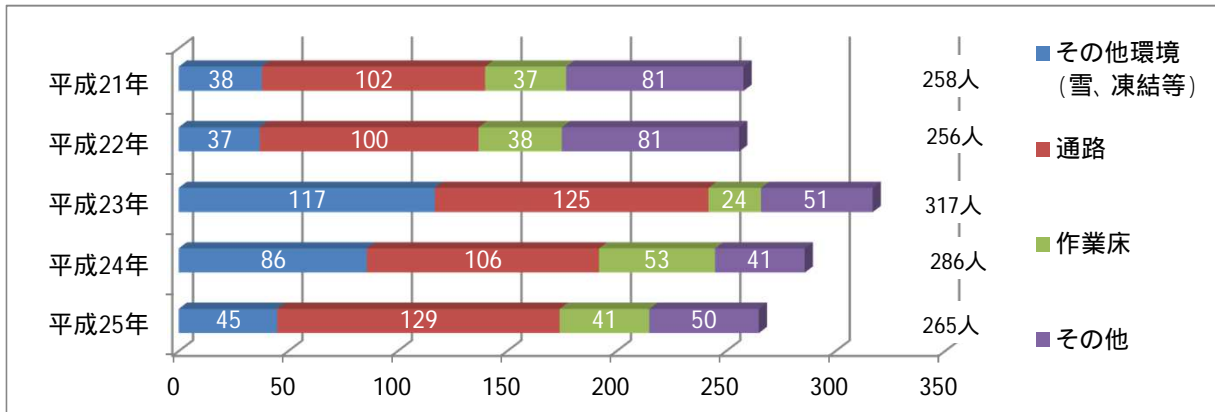
「転倒」と高所等からの「墜落・転落」で全体の43.5%となっている。

「転倒」による災害の過去5年間の平均は276.4人で、平成23年は冬季の雪や凍結等環境に起因する転倒災害が大幅増加したが、平成24年以降は前年より減少している。

図・4 事故の型別災害発生状況の推移



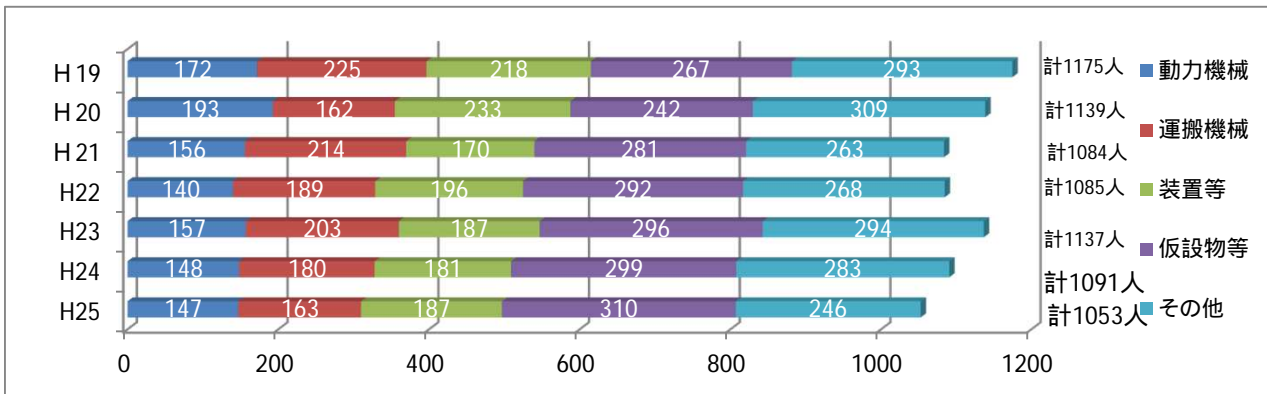
図・5 転倒災害の起因物別の発生状況(平成21年～平成25年)



5 起因物別発生状況の推移

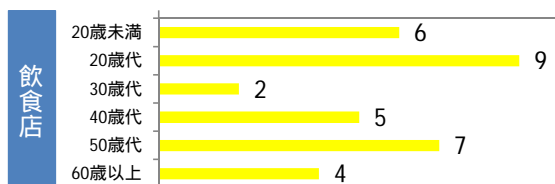
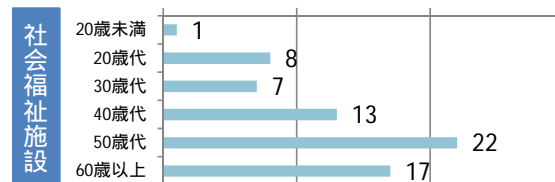
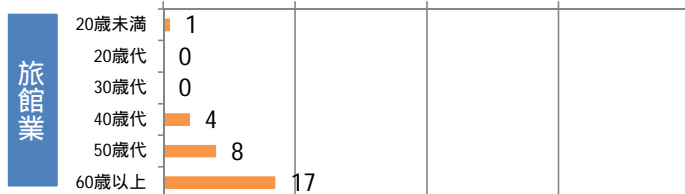
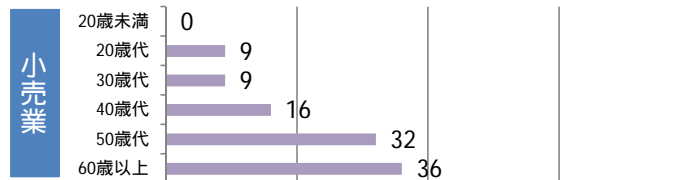
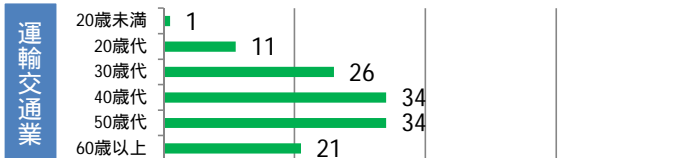
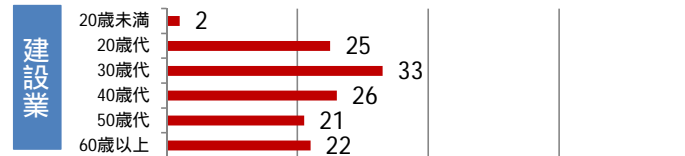
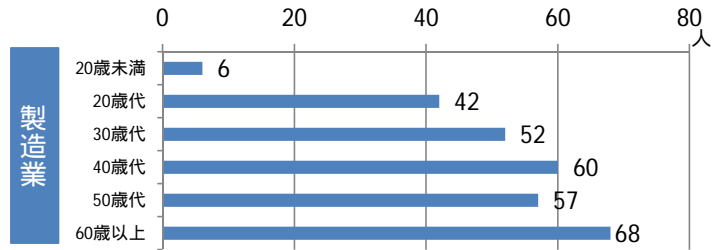
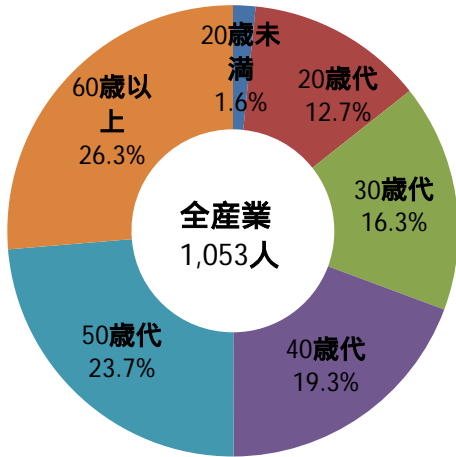
仮設物・建築物等が310人(29.4%)と最も多く、次いで人力機械工具などの装置等が187人(17.8%)、トラックなどの運搬機械が163人(15.5%)となっている。

図・6 起因物別の発生状況(平成19年～平成25年)



6 年齢別発生状況

死傷労働者を年齢別にみると、50歳以上が50.0%を占めており、特に農林業、旅館業、清掃・と蓄業において50歳以上の割合が高い。



7 業種別災害発生状況

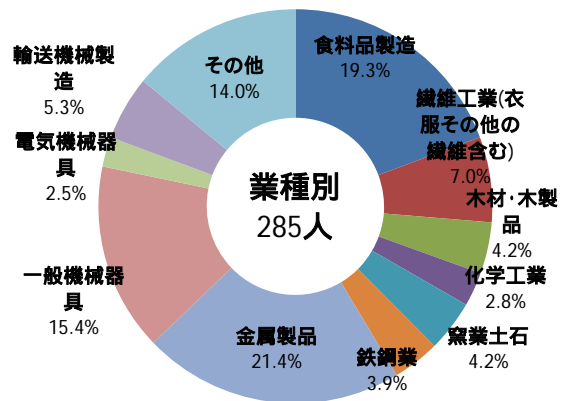
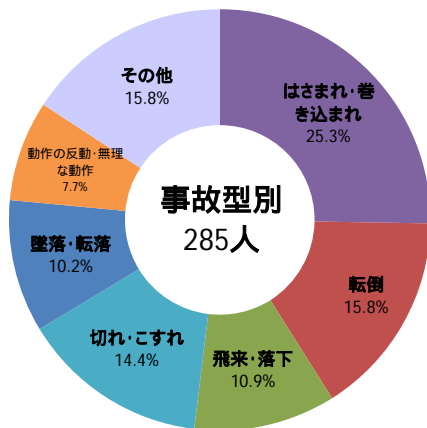
製造業

事故の型別

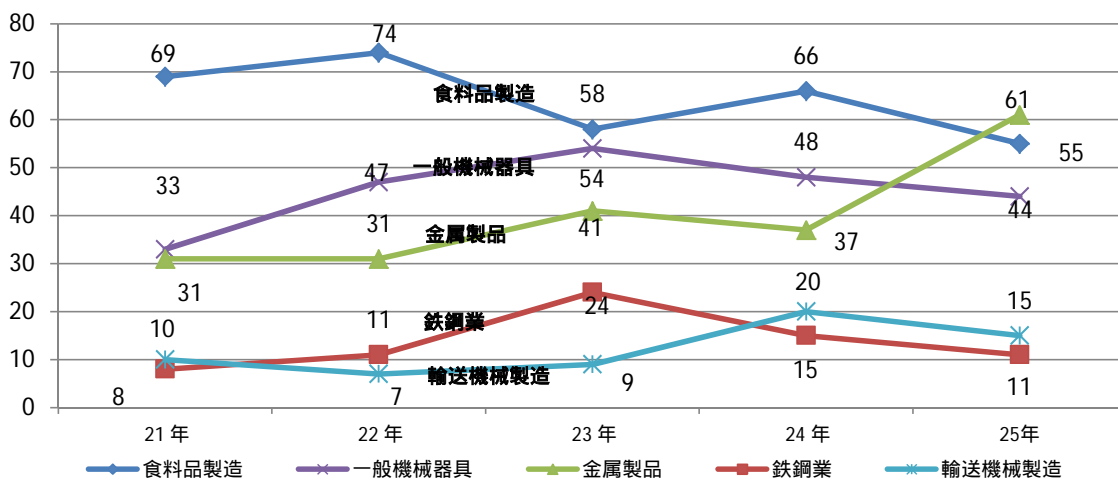
はさまれ・巻き込まれ災害が72人(25.3%)と最も多く、次いで転倒災害45人(15.8%)、切れ・こすれ災害41人(14.4%)となっている。

業種別

金属製品製造業が61人(21.4%)と最も多く、次いで食料品製造業が55人(19.3%)、一般機械器具製造業が44人(15.4%)、繊維工業(衣服その他の繊維を含む)が20人(7.0%)、輸送機械製造業が15人(5.3%)となっている。



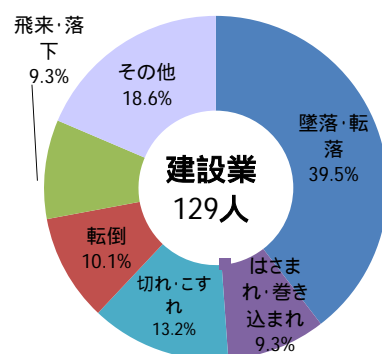
主要な業種の発生件数の推移(過去5年)



建設業

事故の型

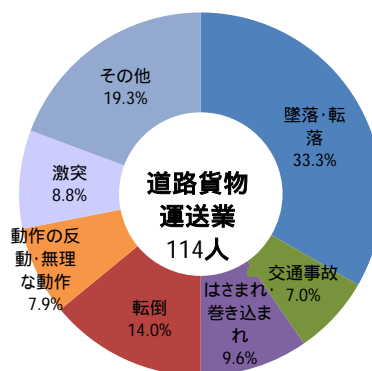
墜落・転落災害が51人(39.5%)と最も多く、次いで切れ・こすれ17人(13.2%)、転倒13人(10.1%)となっている。



道路貨物運送業

事故の型別

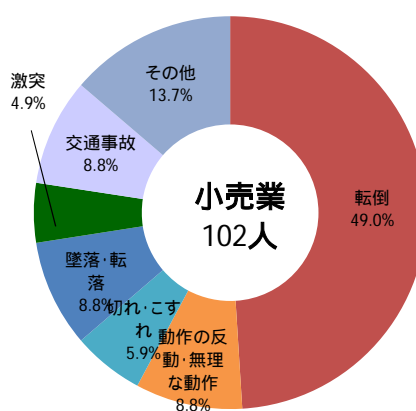
墜落・転落災害が38人(33.3%)と最も多く、次いで転倒災害16人(14.0%)、はさまれ・巻き込まれ災害11人(9.6%)の順となっている。



小売業

事故の型別

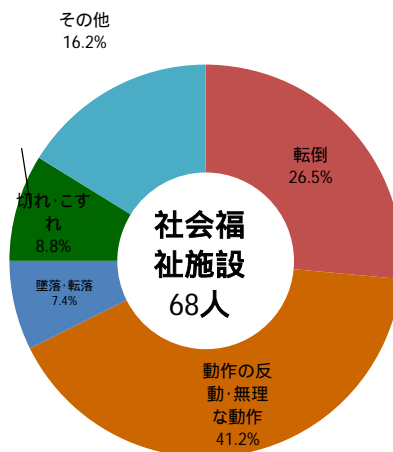
転倒災害が50人(49.0%)と最も多く、次いで動作の反動・無理な動作災害9人(8.8%)、墜落・転落災害9人(8.8%)、交通事故9人(8.8%)となっている。



社会福祉施設

事故の型別

動作の反動・無理な動作災害が28人(41.2%)と最も多く、次いで転倒災害18人(26.5%)となっている。



平成25年署別・業種別死傷者数（確定）

前年同月比： -38人 -3.5%

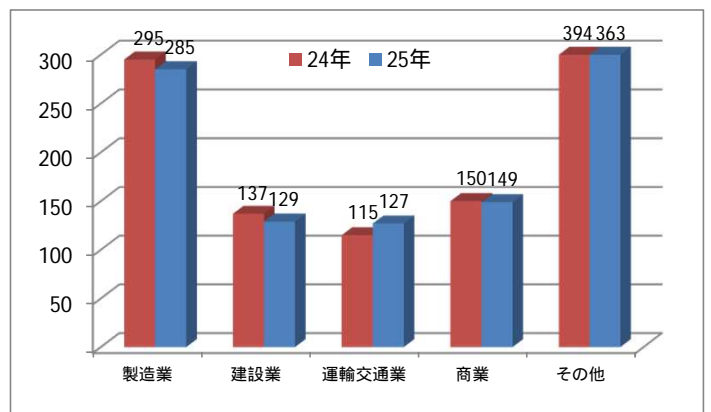
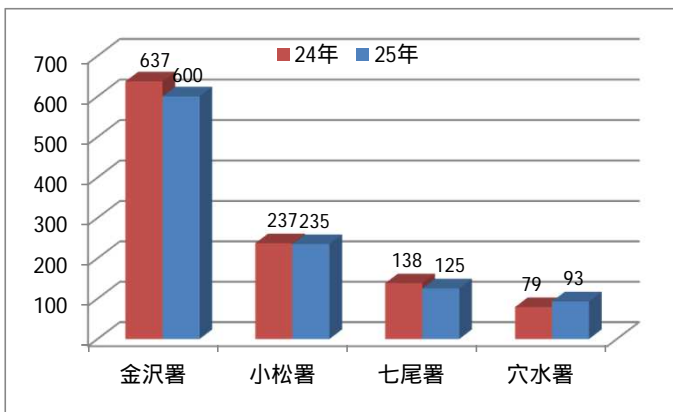
(人) 石川労働局

業種別	署別 年別	金沢署		小松署		七尾署		穴水署		合計				前年同月比							
		25年		24年		25年		24年		25年		24年									
		死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷				
総計		5	600	9	637	1	235	237	125	138	2	93	2	79	8	1053	11	1091	-3	-38	-3.5%
01 製造業	01 食料品製造		30		34	13	12	10	15	2	2		5		55		66		-11	-16.7%	
	02 繊維工業		6		9	4	6	2	2	2		2		2		14		19		-5	-26.3%
	03 衣服その他繊維		1		1	1			1	1		3				6		2		4	200.0%
	04 木材・木製品		3		3	1	6	6	4	2						12		13		-1	-7.7%
	05 家具・装備品		2		1		7	1								3		8		-5	-62.5%
	06 パルプ等		2		2	2	1	1	1	1						5		4		1	25.0%
	07 印刷・製本		5		7	1										6		7		-1	-14.3%
	08 化学工業		2		5	3	2	2	2	3		1		1		8		11		-3	-27.3%
	09 窯業土石		3		4	2	3	4	1	3						12		8		4	50.0%
	10 鉄鋼業		4		7	2	2	2	5	6						11		15		-4	-26.7%
	11 非鉄金属					1	1	1	1	1						2		2		0	0.0%
	12 金属製品		31		17	21	14	14	4	5		5		1		61		37		24	64.9%
	13 一般機械器具	1	24		32	18	14	2	1	1				1	1	44		48	1	-4	-8.3%
	14 電気機械器具		3		6	4	1			3						7		11		-4	-36.4%
	15 輸送機械製造		7		13	6	7	2								15		20		-5	-25.0%
	16 電気・ガス				2											0		2		-2	-100.0%
	17 その他の製造		13		9	6	7	2	2	2		3		4		24		22		2	9.1%
製造業計		1	136		152	85	83	43	45		21		15	1	285		295	1	-10	-3.4%	
02 鉱業			1					1	1		2				4		1		3	300.0%	
03 建設業	01 土木工事		14	2	21	5	2	2	5		6		6		27	2	34	-2	-7	-20.6%	
	木造家屋建築		22		20	5	10	9	6		7	1	9		43	1	45	-1	-2	-4.4%	
	02 建築工事		50	1	47	12	15	15	9	1	12	1	12	1	89	2	83	-1	6	7.2%	
	03 その他建設		10	1	9	1	5	2	3				3		13	1	20	-1	-7	-35.0%	
建設業計			74	4	77	18	22	19	17	1	18	1	21	1	129	5	137	-4	-8	-5.8%	
04 運輸交通業	01 鉄道等	1	1		1			1							1	2	1	1	1	100.0%	
	02 道路旅客		11		10		2		2						11		14		-3	-21.4%	
	03 道路貨物運送		78		80	1	26	8	5		9		5	3	1	114	100	1	14	14.0%	
	04 その他運輸交通														0					-	
運輸交通業計		1	90		91	1	26	10	6		11		5	3	2	127	115	2	12	10.4%	
05 貨物取扱業		2		3	1	2	1	1	1						4		6		-2	-33.3%	
06 農林業	01 農業		6		6	1	1	1	1		2		1		10		8		2	25.0%	
	02 林業		2		2	1	2	9	10	10	10	12		12		22		26		-4	-15.4%
農林業計			8		8	2	3	10	10	10	12		13		32		34		-2	-5.9%	
07 畜産・水産業		2		4	7	3	3	2	7		6		6		19		15		4	26.7%	
(08) 商業・サービス業	01 卸売業		24		17	4	6	2	1				2		30		26		4	15.4%	
	02 小売業		65		75	26	25	4	8		7	1	5		102	1	113	-1	-11	-9.7%	
	03 理美容業														0					-	
	04 その他の商業		11		10	3	1	2				1			17		11		6	54.5%	
	商業計			100		102	33	32	8	9		8	1	7		149	1	150	-1	-1	-0.7%
	09 金融広告業		3		15	3	3		2					1		6		21		-15	-71.4%
	10 映画・演劇業															0					-
	11 通信業		15		13	2	6	3	3	3		2		3		22		25		-3	-12.0%
	12 教育研究		8		11	4	3	1	1	1	1	1		1	1	14		16	1	-2	-12.5%
	01 社会福祉施設		37		41	18	14	5	9	8		8		2		68		66		2	3.0%
	13 保健衛生業		62		54	23	18	7	13	8		8		3		100		88		12	13.6%
	01 旅館業	1	4		7	16	23	9	6	1		1	1	1	30		37	1	-7	-18.9%	
	02 飲食店		26		25	4	5	2	3	1		1			33		34		-1	-2.9%	
	14 接客娯楽	1	35		38	20	35	16	12	2		2	1	1	73		87	1	-14	-16.1%	
	15 清掃・と畜		41	1	43	7	6	4	3	2		2		1	54	1	53	-1	1	1.9%	
	16 官公署														2		2		-2	-100.0%	
	17 その他の事業	2	23	4	26	4	11	3	8	5		5		1	2	35	4	46	-2	-11	-23.9%
商業・サービス業計		3	287	5	302	96	114	42	51	1	28	1	21	4	453	6	488	-2	-35	-7.2%	

この件数は、平成26年3月末(前年についても前年の3月末)までに、管内の監督署に提出された労働者死傷病報告に基づき作成しておりますので、署・業種別死亡災害発生状況の件数とは一致しませんのでご了承ください。

署別の発生状況

業種別発生状況



平成25年 死亡災害発生状況(確定)

No	署別	発生	業種	年齢	事故の型	起因物	発生状況
1	穴水	1月	その他の教育研究業	50代	墜落・転落	はしご等	バスに移動はしごを立てかけ、バスの屋根上の換気扇の修理作業を行っていたところ、移動はしごを降りる際に足を滑らせ、2.6m下の地面に墜落した。
2	金沢	2月	機械(精密機械を除く)器具製造業	20代	その他	起因物なし	海外出張中、機械ラインのトラブルのため滞在期間を延長していたところ、当該機械ラインに別のトラブルが発生し、夕方から早朝まで対応を行い、その後の生産立会い等の終了後、滞在先のホテルの自室で死亡しているところを発見された。
3	金沢	3月	その他の事業	50代	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	市道交差点において、事業主の運転する乗用車に同乗していたところ、右側から走行してきた軽自動車と衝突した。
4	金沢	3月	旅館業	50代	その他	起因物なし	事業場での勤務終了後、自宅においても長期間にわたり、深夜や早朝にも宿泊客の管理業務を行っていたところ、就寝中に胸部の痛みを訴え救急搬送後、死亡した。
5	金沢	5月	その他の事業	60代	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	山中の送電線の定期的の巡視作業を行い、社用車で事務所へ帰るため、大日川ダム左岸沿いの市道を走行中、路肩からダム湖に転落した。
6	穴水	6月	その他の建築工事業	20代	墜落・転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	マンション改修工事現場において、屋上で鋼板のビス止め作業を行っていたところ、屋上端部から約15m下の地面に墜落した。
7	小松	6月	一般貨物自動車運送業	50代	交通事故(道路)	トラック	県外の国道トンネル内において、トラックで緩い右カーブの下り坂を走行していたところ、トンネルの側壁に激突した。
8	金沢	12月	鉄道・軌道業	50代	転倒	その他の乗物	スキー場内において、スノーモービルを斜面に対し横向きに停車していたところ、当該スノーモービルが転倒し、その下敷きになった。